

重要取組シート

市長公室 政策企画部 公民連携課

取組項目	社会課題の解決に向けた公民連携の推進
現状・課題	【現状】 ○人口減少・高齢化や社会保障費の増大等の社会情勢の変化により、行政が直面する課題やニーズが多様化、複雑化し、行政だけでは解決できない幅広く複層的な社会課題が発生しています。 ○課題の解決に向け、包括連携協定や公民連携プロジェクト等に基づく企業、大学等の技術やノウハウの活用、SDGs の目標達成に寄与する「さかい SDGs 推進プラットフォーム」を通じた多様な主体との連携等、相互の強みを活かした取組を推進してきました。 【課題】 ○社会課題はますます多様化、複雑化しており、企業や大学等との更なる連携による課題解決や市民ニーズへの対応が必要です。 ○「さかい SDGs 推進プラットフォーム」の会員数、連携実績が増加する一方で、会員の活動量等の差異が顕著になっています。活動量が多い会員への支援の充実や会員による自律的な活動の促進等に取り組む必要があります。 ○最終年度を迎える「堺市 SDGs 未来都市計画」を評価、分析し、次期計画では 2030 年度にめざす SDGs の目標達成に向けた施策の位置付けが必要です。
取組の内容	○大阪公立大学協創推進事業、関西大学地域連携事業等の包括連携協定等に基づく企業や大学等と連携した取組を推進します。 ○企業や大学等との連携により行政が抱える社会課題を解決する「公民連携実証プロジェクト」に取り組むほか、企業等からの相談や提案を一元的に受け付ける「さかい・コネクテッド・デスク」の取組を推進します。 ○さかい SDGs 推進プラットフォームの更なる活性化に向け、会員の自律的な活動を支援するため、オンラインサロンを基幹ツールとします。また、会員数が 2,000 団体を超え、活動量に差異が出てきているため、年間活動報告を通じ、会員の活動量に応じた登録区分の階層化や支援の重点化に取り組めます。 ○最終年度を迎える「堺市 SDGs 未来都市計画」の各 KPI 等の進捗管理を行い、SDGs のゴールとなる 2030 年までの 5 年を見据えた計画を策定します。

スケジュール	前期 (～9月)	☐ 大阪公立大学協創推進事業の実施（4月～） ☐ 関西大学地域連携事業の実施（4月～） ☐ 堺市 SDGs 未来都市計画（2021～2025）の進捗管理や評価（4月～） ☐ さかい SDGs 推進プラットフォームの登録区分階層化等運営手法改善（5月） ☐ 大仙公園での「MIRAI SAKAI EXPO PARK 2025」の開催（5月） ☐ 公民連携実証プロジェクト推進事業に係る事業者公募（5月） ☐ 関西大学地域連携協議会の開催（7月） ☐ 公民連携実証プロジェクト推進事業に係る事業者選定（8月） ☐ 次期 SDGs 未来都市計画骨子案の作成（8月～） ☐ さかい SDGs 推進プラットフォーム会員交流会の開催（8月） ☐ 大阪公立大学協創推進事業検討協議会の開催（随時） ☐ 公民連携事業の実施に向けた企業等からの相談・提案の受付（随時） ☐ さかい SDGs 推進プラットフォーム会員による連携事業の実施（随時）		
	後期 (～3月)	☐ 公民連携実証プロジェクト推進事業に係る実証プロジェクトの実施（10月） ☐ SDGs 未来都市推進本部会議（次期 SDGs 未来都市計画案の付議）（11月） ☐ 次期 SDGs 未来都市計画素案のパブリックコメントの実施（12月～） ☐ さかい SDGs 推進プラットフォーム会員交流会の開催（2月） ☐ SDGs 未来都市推進本部会議（次期 SDGs 未来都市計画の確定）（2月） ☐ 関西大学地域連携協議会の開催（3月） ☐ 大阪公立大学協創推進事業検討協議会の開催（随時） ☐ 公民連携事業の実施に向けた企業等からの相談・提案の受付（随時） ☐ さかい SDGs 推進プラットフォーム会員による連携事業の実施（随時）		
	次年度以降	☐ 次期基本計画と連動した新たな SDGs 未来都市計画による取組を促進 ☐ 運営手法を見直したさかい SDGs 推進プラットフォームの検証と改善による発展的な取組の継続		
	進捗の状況	前期 (～9月)		
	後期 (～3月)			
堺市基本計画 2025	該当する施策	※「イノベティブに重点戦略の施策を推進するうえで必要となる基本姿勢」の「持続可能性」として位置づけ		
	寄与する KPI	—	目標値（2025 年度） —	
堺市 SDGs 未来都市計画	最も貢献する SDGs のゴール	ゴール番号 17	パートナーシップで目標を達成しよう	
	寄与する KPI	SDGs の意味及び重要性を理解し、取り組んでいると答えた企業の割合 [現状値：26.5%]	目標値（2025 年度） 33.0%	